

## 第 32 回 石西礁湖自然再生協議会 議事概要

日時：令和 5 年 9 月 22 日（金） 13：00～16：00

場所：沖縄県八重山合同庁舎 2 階大会議室（web 併用）

Web 会場は WebEx によるウェブ会議システム

### ■出席者

委員：個人 7、団体・法人 10 団体、行政 21 団体  
計 38 団体

傍聴者：12 名（記者 3 名を含む）

### ■議事次第

1. 開会
2. 新規参加委員の承認
3. 報告
  - （1）石垣市サンゴ保全庁内連携チームについて
  - （2）第 7 回部会、作業チームおよびワーキンググループの活動報告
4. 話題提供
  - （1）パラオ国際サンゴ礁センターの取組
  - （2）八重山ローカル SDGs 推進協議会の取組
5. 意見交換
  - （1）「石西礁湖自然再生全体構想行動計画2019-2023」見直しについて
6. その他
7. 閉会

### 3. 報告

#### (1) 石垣市サンゴ保全庁内連携チームについて

- ・石垣市の関係部署内および庁外機関とのサンゴ保全活動における連携を強化するため、庁内連携チームを結成した。
- ・イメージキャラクター「シン・サンゴレンジャー」のバックストーリーをホームページ等に公開している。
- ・行政職員の保全意識の向上を図ることに重きを置いている。職員の新任研修として実際に石西礁湖に行き、オニヒトデにより荒廃したサンゴ礁群と健全なサンゴ礁群を自分の目で見て体感してもらうというを実施している。
- ・事業として、飾り文字を作成して石西礁湖認知度に努めている。
- ・今後は陸域負荷対策などを実施していく。

#### (2) 第7回部会、作業チームおよびワーキンググループの活動報告

令和5年8月31日に開催された作業チーム・(9月13日) 学術調査部会(中村部会長)、9月5日に開催された海域・陸域対策部会(吉田部会長)および普及啓発・適正利用部会(大堀部会長)、7月3日(第一回)、8月9日(第二回)に開催された漁場再生ワーキンググループ(岡田)、9月12日に開催された陸域負荷ワーキンググループ(安元先生)について各部会長より実施状況の報告があった。

##### <学術調査部会(中村部会長)>

- ・9月13日16:30~18:30に22名の参加により開催された。
- ・これまでのモニタリングをしっかりと継続していく。
- ・モニタリングで得られた情報をもとに重要海域マップを作成した。
- ・科学コミュニケーターなどアカデミックな内容をわかりやすく伝える技術やデザイン能力を持った方の協力による普及啓発を進めていく必要がある。

##### <作業チーム>

- ・8月31日13:15~15:15に10名の参加により開催された。
- ・サンゴ白化現象の緊急対策として給餌をして栄養面でのサポートすることにより白化に対して耐性を高める方法の研究について紹介された。
- ・もうひとつは石西礁湖のまだ熱くなっていないような海水をいかに浅いところの高水温になったところに持ってくる技術があるかという紹介がされた。
- ・サンゴ白化現象緊急対策として提案された方法を今年度及び次年度以降で試験運用することを検討した。

##### <海域・陸域対策部会長(吉田部会長)>

- ・ 9月5日 10:00~12:00 に 24 名の参加により開催された。
- ・ 海域利用ルールの策定や展開を行っていき、また米原海岸に策定された海域利用ルールを石垣、石西礁湖全体にも適用することにより海域保全を図ってはどうかという案が出された。
- ・ 栄養塩対策についても積極的に問題として取り上げ、重点項目にあげるべきだという意見があった。
- ・ 畜舎の糞尿等がもたらす海域負荷の可能性に対し、畜産農家の実態把握または協働できる方法を検討したい。
- ・ ブダイ等岩やサンゴをかじる魚類とサンゴの生存との関係性について重要であるという学術論文があるという報告があった。
- ・ 漁業者とマリンレジャーの関係性を把握・分析し問題点を発見・改善してはどうかという意見が出された。

#### <普及啓発・適正利用部会（大堀部会長）>

- ・ 9月5日 13:00~15:00 に 22 名の参加により開催された。
- ・ 八重山の全ての子供たちにサンゴ学習を提供するという意見が出された。
- ・ 石西礁湖認知度向上のため YouTube のチャンネルを作成するという案が出された。
- ・ 石西礁湖バーを作り関係者の情報共有の場を作ることが提案された。

#### <陸域負荷対策ワーキンググループ（安元委員）>

- ・ 9月12日 16:30~18:00 に 34 名の参加により開催された。
- ・ 鳥取大学の宮本先生から農地におけるリン酸の蓄積状況の報告があった。
- ・ 琉球大学農学部の方良先生、塚本先生より J S T プロジェクトの紹介があった。

#### <漁場再生ワーキンググループ（岡田）>

- ・ 第一回 7月3日 17:00~19:00 に 9 名の参加により開催された。
- ・ 第二回 8月9日 16:30~18:00 に 9 名の参加により開催された。
- ・ 水産技術研究所の名波委員より石西礁湖に生息するいくつかの水産有用種をサンゴの関連性についての研究結果が報告された。

## 4. 話題提供

### (1) パラオ国際サンゴ礁センターの取組

- ・ 国際サンゴ礁センター職員の伊藤氏よりガラルド州で実施されているサンゴ再生プロジェクトについて紹介があった。
- ・ ガラルド州ではサンゴ再生方法として Mars Coral Reef Restoration が開発したリーフスターを導入している。
- ・ ガラルド州ではリーフスターを最終的に 1000 点製作することを目標としている。

## (2) 八重山ローカルSDGs推進協議会の取組

- ・”Get The Point”というSDGsが学べるボードゲームの八重山オリジナル版を製作し、一昨年に八重山の全小中学校、高等学校に寄付した。
- ・今年是小中学校の教員向けにファシリテーターの無料講習会を開催する予定。
- ・農水省が決めている方針で2050年には農薬・化学肥料使用量を40、50%削減するというSDGs目標に対して、米が優遇されることによりサトウキビが負担を負うリスクについて農水省や県の農政課、JA等が未来の農業の姿について話し合うべき。

## 5. 意見交換

### (1) 石西礁湖自然再生全体構想行動計画2019-2023見直しについて

- ・自然再生協議会が2006年に設立後、2007年に30年後の取り組み目標を設定、その中に10年の短期取組目標を設定している。この10年間の取り組みを評価し、今後具体的に活動していく計画として行動計画2019-2023が作られた。今回、2024年から新しい5年間の行動計画のための見直しスケジュールが発表される。
- ・8月から9月にかけてメーリングリストで各参加団体に本行動計画における目標達成状況のヒアリングを行った。
- ・9月に実施された各部会においてはそれぞれの成果報告、課題の整理を行った。
- ・12月に各部会を開催し、2024年2月に実施される第33回石西礁湖自然再生協議会で次期行動計画を確定させる。
- ・重点項目については毎年の自然再生協議会で進捗状況を報告して関係機関で評価をしていく。
- ・今回実施するグループディスカッションにて重点項目について意見を出し合い、行動計画2019-2023に反映させる。

## 6. その他（グループディスカッション）

4つのテーマについて1つのテーマごとにグループを作りグループディスカッションが行われた。

### ○環境学習の推進・石西礁湖の認知度向上

- ・飛行機内にサンゴでの遊び方など保全に関するパンフレット（2次元バーコードなど）を設置してはどうか。
- ・石西礁湖ライブ配信（VR）をする。

- ・ Instagram にて#石西礁湖を作って写真を投稿し、認知度向上を図る。
- ・ シンサンゴレンジャーを活発化させ、Youtube チャンネルを作ったり、アニメなどとコラボする。
- ・ 学校の先生たちも対象にサンゴ学習を提供する。

#### ○海域利用ルールの展開・観光利用の実態把握

- ・ 米原海岸で策定された利用ルールを全海域に広げる。
- ・ 既存の米原海岸の利用ルールや石西礁湖自然再生の全体構想などを石垣の事業者  
に周知してほしい。
- ・ 漁業者とマリンレジャー業者の関係性改善のため互いに利益のあるビジネスモデル  
を考えてはどうか。
- ・ 鳩間島の海域から小浜島あたりのサンゴの状態がよいところを積極的に保護して  
いける仕組みをやってはどうか。

#### ○連携の推進

- ・ 赤土流出防止のためベチベルを植える。
- ・ 組織内外をつなげるためキーマンを見つける。
- ・ 飲み会の場など協議会以外に意見交換できる場を作る。

#### ○陸域負荷対策

- ・ 水質改善のため農地での対策、浄化槽と下水道の接続向上
- ・ 石垣の第一次産業者の減少に対して対策をするべき。
- ・ 赤土、栄養塩の流出が少ない農業モデルをつくってはどうか。
- ・ 赤土等陸からの排水を減らすステークホルダーを明確にし、それらを可視化して  
はどうか。

#### ○オンライン

- ・ リユース食器の利用やマイボトルの利用を積極的にアピールし海洋汚染対策にも  
力を入れる。
- ・ 環境に優しい取組が経済的にもプラスになるような認証制度を導入してはどうか。
- ・ 赤土問題に関する子供向けのパンフレットのように石西礁湖の漫画を作ってはど  
うか。

## 7. 閉会

以上